



学校だより

石薬師 (いしやくし)

鈴鹿市立石薬師小学校 令和3年11月5日 第17号

TEL 374-1028 FAX 374-1057

<http://www.edu.city.suzuka.mie.jp/sp/esishiyakushi>

HPではカラーでご覧になれます

学力・学習状況調査、みえスタディチェックの結果から、石薬師小学校の学力向上の取組を考えました。これらの調査は学力の一面をとらえたものであり、子どもの学力の全てを表すものではありません。しかし、これらの結果も踏まえて学校としてどのように学力向上につながる指導にしていけるかが大切なことだと考えています。

学力・学習状況調査、みえスタディチェックの結果

◇ 6年生学力調査 <国語>

	平均正答率(%)
本校	57.0
三重県	64.0
全国	64.7

◇ 6年生学力調査 <算数>

	平均正答率(%)
本校	63.0
三重県	69.0
全国	70.2

◇ 5年生みえスタディチェック<国語>

	平均正答率(%)
本校	71.4
三重県	60.8

◇ 5年生みえスタディチェック<算数>

	平均正答率(%)
本校	59.3
三重県	57.0

◇ 5年生みえスタディチェック<理科>

	平均正答率(%)
本校	63.8
三重県	50.9

全国学力調査は初見の問題が多く出題され、みえスタディチェックは過去に出題されたものと同一の問題が多く出題される傾向があります。

◇ 4年生みえスタディチェック<国語>

	平均正答率(%)
本校	68.8
三重県	56.8

◇ 4年生みえスタディチェック<算数>

	平均正答率(%)
本校	66.0
三重県	59.0

○学力定着が見られた点

- ・漢字や語句の使いかたがわかり、文の中で使う。
- ・文の中で主語・述語をとらえる。
- ・計算、分度器の使い方やグラフ、図形の知識

○課題

- ・文章と図表を結び付けて必要な情報を見つけたり、中心となる語や文を見つけたりして、目的に応じた形で記述する。
- ・図形やグラフ・データをとらえ、問いに応じた形で記述する。
- ・学調、みえスタの経年変化から、既習の問題はできるが、初めての問題やデータを読み取り、判断し、表現する力は身に付いていない。

以上の結果を踏まえて校内研修で、学力向上に向けて全教員で問題を解き、結果分析し、学力向上に向けてどう取り組んでいくかを検討しました。

- ☆授業の中で、「考える、表現する・まとめる、伝える」という活動を入れる。
- ☆インプットだけでなく、自分の言葉でアウトプットさせる。
- ☆ICTを活用し、わかりやすい授業、自分や友だちの考えが見える授業を展開する。
- ☆アクティブラーニング（主体的な学習）や問題解決学習に取り組んだり、友だちと学び合う協働的な学習に取り組んだりする。

自校の課題を意識しながら、各学年で学力向上に取り組んでいきたいです。

全国学力・学習状況調査 児童質問紙の結果より

児童質問紙の結果を教員一人ひとりが読み解きました。県・国よりポイントが高い項目、県・国よりポイントが低い項目を洗い出し、自校の強みと弱みを話し合いました。

◇生活の面から

<本校の強み>

- ・友だちに対して思いやりの気持ちを持てる児童が多い。
- ・学校へ行くことを楽しいと感じている。
- ・自分の思いを言葉で表すことができる。

<本校の弱み>

- ・ゲーム時間が長い。
- ・自分に自信が持てない。
- ・計画的に進めることが苦手。

◇学習の面から

<本校の強み>

- ・ICTに関する取組は積極的である。
- ・友だちと話し合う中で、学びを深めていると実感している。
- ・国語で言葉の知識や使い方を深めようとしたり、自分の考えを話したり友だちに質問したりして、考えを深めようとする姿勢がある。
- ・算数の基礎的な内容を理解している児童が多い。

<本校の弱み>

- ・ゲームの時間が長いためか、家庭学習の時間が少ない。読書時間や自主学習の時間がとても短い。
- ・国語では、言葉や知識の使い方についてはよく理解しているが、文章で解答することには苦手で途中であきらめてしまうことが多い。
- ・算数でも求め方を言葉や数・式を使って説明することが苦手で、決められた時間内で問題を読んで解答することが難しい。
- ・英語について、好きと感じている子が少なく、英語で自分の思いを伝えたり相手の思いを聞いたりする活動が苦手な子が多い。

友だちに優しい気持ちを持ち、学校生活や学習に向かう姿勢は前向きな石薬師小学校の子どもたちの姿があります。本やICT等で調べたり学んだりしたことを表現していく経験を増やし、読書で自分の世界を広げ、家庭で宿題や自主学習をしっかりする習慣を身に付けていくことを指導していきたいと思えます。

学校運営協議会でも協議し、本校の読書環境を豊かなものにするために、読まなくなった本の寄贈を呼びかけることを石明協で検討していただくこととなりました。